

平成 31 年度入学試験問題

外国人留学生

# 小 論 文

## 注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は 4 ページ、解答用紙は 1 枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

## 外国人留学生入学試験問題

次の文章を読んで、設問に答えなさい。

A そもそも財政はなぜここまで悪化したのか。船底にたまった水（ストック）は、船に開いた穴から毎時流入する水（フロー）がたまったものである。同じように、現時点における①国債残高（ストック）は、過去年々の②財政赤字（フロー）が累積したものにほかならない。

図表 1 は過去 40 年の国の財政収支（一般会計）の推移である。財政赤字が拡大したのは、平成に入ってまもなく〔ア〕年代初頭にバブルが崩壊してからであることが分かる。景気が好くなれば財政赤字は縮小し、逆に不況のときには赤字が膨らむ。これは真理であり、実際図表 1 にある財政赤字も年々ぶれている。しかし図表 1 を全体として見れば、日本の財政赤字はまさに「構造的」と呼ぶべき長期的な問題であることが分かる。この問題は、③経済成長だけでは解決できない。

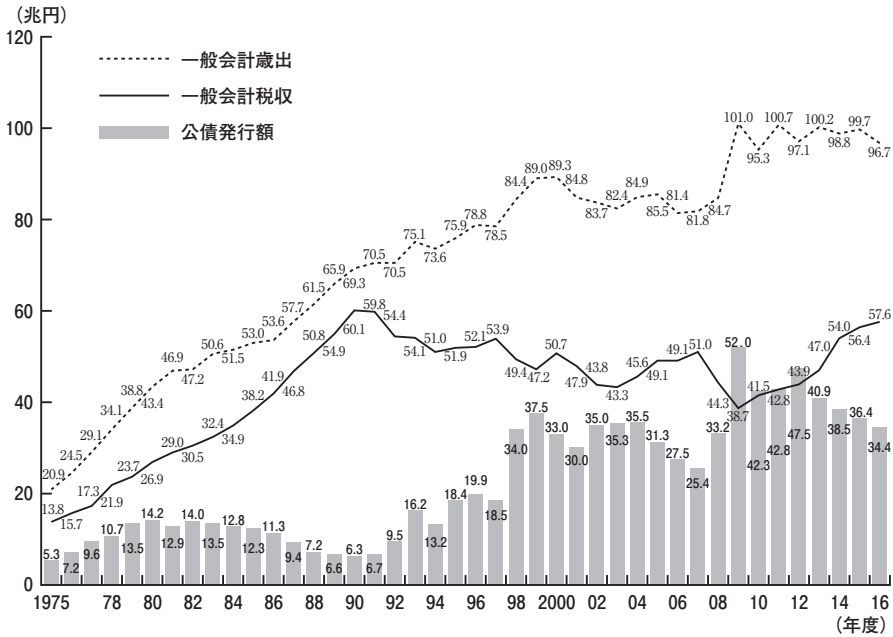
さて、財政赤字は歳出（予算によりお金を使う分）と歳入（税を中心に政府にお金が入ってくる分）の④ギャップにほかならない。歳出の増加、税収の減少、いずれかあるいは両方によって財政赤字は拡大する。ここでは歳出に注目しよう。

予算は時代の鏡だ。経済社会の変化を反映して歳出の中身は時代とともに変わる。図表 2 はこうした歳出の⑤シェアの変化を見たものである。

東京オリンピックが開催された 1964 年の少し前、1960 年度の⑥一般会計予算を見ると、その規模は 1.7 兆円、100 兆円に達しようという今日の予算と比べると何とも小さいが、そのうちで社会保障関連の予算は 2000 億円と、公共事業費 3000 億円の〔イ〕の水準だった。この時代は、道路をはじめ⑦インフラ整備が急務だった。東京ですら雨が降ると水たまりのできる土の道が多かった時代である。

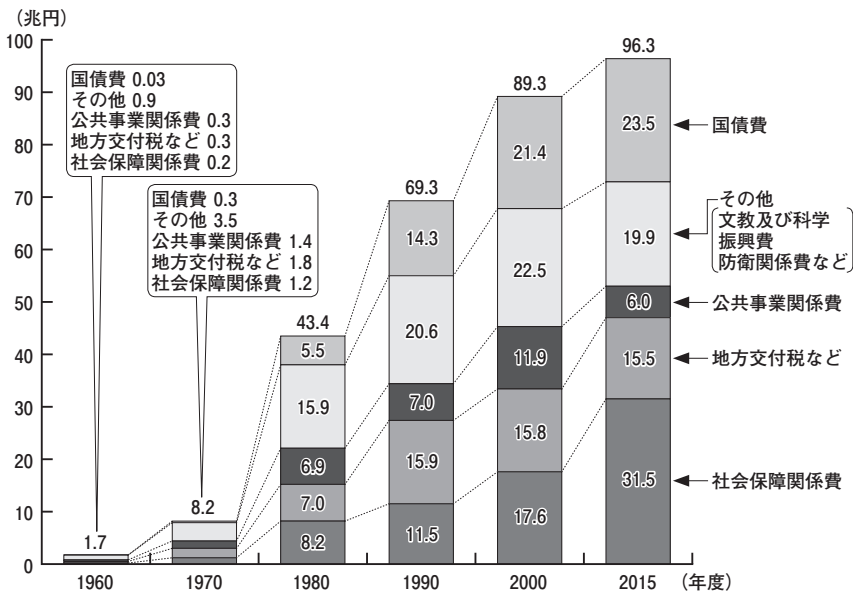
その後、経済成長の 1960 年代、高度成長が終わり⑧オイルショックもあった 1970 年代、国の予算は膨らみ続け、バブル経済が崩壊する直前 1990 年度の予算は 69 兆円に達した。バブルが崩壊し、「失われた 10 年」と呼ばれる 90 年代に入ると、深刻な不況の下で度重なる「経済対策」により公共事業費が激増した。もともと 2000 年代に入ると、小泉内閣をはじめ歴代の内閣により公共事業費は大幅にカットされ、2015

図表1 歳出・歳入の推移



出所) 財務省

図表2 一般会計の主要歳出の推移



出所) 財務省

年度には〔ウ〕兆円と、2000年度の半分まで減少した。

こうした時代の変化の中で、1970年代から一貫して増え続けている費目が二つある。一つは国債費。累積する財政赤字の結果、国債の残高が増大すれば、償還に加えて利払いが増えていくのは当然である。しかし、それにも増して年々増加のペースを高めてきたのが、〔エ〕である。こうして今では、一般会計予算から国債費と地方への移転である「地方交付税交付金」を除いた国の「政策経費」の半分以上が、〔エ〕である（2015年度は31.5兆円／57.4兆円=55%）。

社会保障関係費は国の予算の中で圧倒的に高いシェアを占めているだけではない。高齢化の下で、毎年1兆円近く増大していくものと考えられる。少子化により保険料を払う<sup>⑤</sup>現役世代が減る一方、高齢化により給付は増大していくから、社会保障の台所は苦しくならざるをえない。そのギャップを埋めているのが国・地方の社会保障関係予算なのだから、少子高齢化の下でこれが膨張していくことは避けがたい。こうして、少子高齢化は「財政赤字」という大きな問題を生み出した。

問題を解決するためには歳出の伸びを抑制する一方、歳入増（増税）が必要であることは自明だ。しかしここではこれ以上立ち入らない。ただ一つ、日本と同じく少子高齢化に悩むEUが加盟国にB消費税（付加価値税）最低15%というルールを課している事実をわれわれ日本人はよく考えてみる必要がある。

【出典】吉川洋『人口と日本経済』（中央公論新社、2016年）

※設問作成にあたり、一部を加工しました。

設問 1 ①～⑤の漢字の読み方をひらがなで書きなさい。

設問 2 (a)～(d)を簡単に説明しなさい。

設問 3 [ ア ] ～ [ エ ] に適当な数字や語を入れなさい。

設問 4 A の原因について筆者はどのように考えているか、本文の内容を 70 字以内でまとめなさい。

設問 5 B の「消費税（付加価値税）」の増税が生活に与える影響について、あなたの国の事例も踏まえて 400 字以内で述べなさい。